

6年 「朝のボランティア清掃」



親子で愛校作業

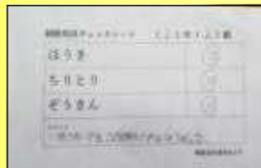
実践

「残菜0kgに挑戦」



掃除用具や残菜調べを行い、頑張っているクラスを昼の放送で紹介した。

「掃除用具調べ」



職員室



可燃・プラ・紙の切れ端・シュレッダーと、ごみ箱を4つに分ける。紙類は、裏紙再利用可・空き箱・菓子箱・段ボールに分ける。不要な物は、リサイクルを呼びかける。

学級エコ宣言を实践して「エコスターを集めよう」



環境にやさしいことをすると貯まる「エコスター」。個人や学級でエコスター集めに挑戦した。

持ち物に名前を書いて「エコスターを集めよう」



学期に1回、全学年が愛校作業を計画。また、夏休みには親子での愛校作業も行っている。



発信

校内に作品掲示



「家族でエコスターを集めよう」



我が家の「エコ宣言」を決めて、家族でエコスター集めに挑戦した。

地域に環境ポスター掲示



校区の祭り「大やちわ祭り」でごみの持ち帰りを呼びかけた。



校区の公民館や歯医者、各町内にポスター掲示を依頼した。

新聞やポスターなど児童の作品を校内に掲示。

児童振り返り

ぼくは、「〇〇ぱなし」がむずかかったけれど、これからは「〇〇ぱなし」にしないようにがんばります。

保護者より

出っぱなし、付けっぱなしが、癖だったので、一人だけではなく家族みんなで取り組むことができました。続けていきたいです。

3 記録

回収した燃えるゴミ袋の数

| | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 平成30年 | 24 | 18 | 16 | 10 | 32 | 22 | 34 | 156 |
| 令和元年度 | 14 | 13 | 21 | 12 | 25 | 17 | 30 | 132 |

給食1日平均残食量 (kg)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8・9 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2.8 | 5.4 | 5.8 | 6.3 | 6.6 | 5.6 | 5.0 | 4.2 | 3.6 |

給食残菜0kg調べ0kg達成クラス数(23クラス中)

| | | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 5回目 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 11月 | 食缶大 | 7 | 2 | 12 | 5 | 11 |
| | 食缶小 | 3 | 15 | 14 | 20 | 7 |
| 12月 | 食缶大 | 8 | 8 | 16 | 6 | 6 |
| | 食缶小 | 10 | 10 | 17 | 6 | 13 |
| 1月 | 食缶大 | 3 | 10 | 5 | 2 | 6 |
| | 食缶小 | 1 | 4 | 10 | 6 | 9 |

意識調査でエコ活動を「している」(今後実践したい)と答えた児童の割合(%)

| | 持ち物 | 節電 | 節水 | ごみ | 家庭実践 | 今後の実践 |
|-----|------|------|------|------|------|-------|
| 6月 | 91.5 | 81.3 | 95.3 | 91.0 | 78.3 | 94.5 |
| 12月 | 93.0 | 82.0 | 97.3 | 94.1 | 93.7 | 98.5 |

4 見直し

- ・低学年では、植物栽培や生き物の採取・飼育、中学年からは、総合的な学習など計画的な取組が見られた。
- ・意識調査や振り返りから、児童保護者共に環境配慮等エコ意識の高まりが見られた。
- ・落とし物を展示する際、昨年度は長机が2つだったが、今年度は長机が1つになり落とし物が全体的に減った。
- ・給食の残菜は、少しずつではあるが減ってきている。しかし、メニューによって残菜の量が大きく違っており、食育との連携をとる必要がある。
- ・児童、職員で800名を超える大規模校であるため、共通認識が大事であり、課題でもある。職員室内の資源の再利用に向けた提案では、視覚化をさらに工夫することや情報を共有することなどが、職員の意識改革につながり、児童にも大きく影響すると考える。今後も、実践へとつながる取組を心がけたい。